

# 知的財産戦略ビジョン

## 目次

<u>はじめに ～新しい時代の新しい知財戦略～</u> . . . . .	1
<u>第1. 将来の社会変化につながると考えられる現在の環境変化や兆候</u> . . . . .	3
1. 価値観・社会状況における変化の兆候 . . . . .	3
2. 新技術の進展と浸透 . . . . .	7
3. 国際関係における環境変化 . . . . .	12
<u>第2. 現在の兆候から予測される将来の社会像～人が幸せになる未来を作ろう～</u> . . . . .	14
1. 主に人の将来像（生き方、働き方、価値観） . . . . .	17
2. 主に産業の将来像（イノベーション、競争力） . . . . .	18
3. 主に社会の将来像（仕組み・ルール、国際関係） . . . . .	20
4. 「未来」の相反性（人々が幸せを感じる未来になっているか？） . . . . .	23
<u>第3. 将来における「価値」とそれを生む仕組み</u> . . . . .	25
1. 望ましい将来において重要となる「価値」 . . . . .	25
(1) 個人の多面性と多様性を活かす . . . . .	25
(2) リアル（実物、体験、本物、歴史、文化など）の価値が高まる . . . . .	25
(3) 「新しい」を創る（イノベーション）・創発が不可欠に . . . . .	26
(4) 社会が多様な価値を許容することが基盤 . . . . .	26
2. 我が国の新しいビジネスや国際競争力向上につながる「価値」の創出の仕組み . . . . .	27
(1) 多様な個性を生み出す仕組み . . . . .	28
(2) 多様な個人が活躍する環境整備 . . . . .	28
(3) 知識のプラットフォーム化 . . . . .	29
(4) 多様な価値を包摂する社会システム . . . . .	30
(5) 将来の価値創造エコシステムの一例 . . . . .	31
<u>第4. 日本の特徴を活用して価値をデザインし、世界へ発信する</u> . . . . .	34
<u>第5. 将来の「仕組み」に向けて今後の検討が必要な課題</u> . . . . .	38
1. 「価値デザイン社会」への挑戦 . . . . .	38
2. 具体的なシステムの例 . . . . .	44
(1) 脱平均で価値を生み出すチャレンジをする人材・組織の育成・集積と彼らが力を発揮して イノベーションを生みやすい場の提供 . . . . .	44

① 新たな価値創造を行える人材の育成【短・中期】	44
② 価値創造メカニズムの見える化とそれを活かした組織経営【短・中期】	44
③ 多様な価値を見える化、評価するシステムや指標づくり【中・長期】	46
④ 多様な価値を満たす事業にチャレンジするベンチャーを後押しする仕組み【短・中期】	46
(2) 技術・データ・コンテンツ等知的資産（人を含む）の柔軟な交流や共有を促し、 価値を拡大する仕組みの構築	46
① 多様な人材・組織が集う場の形成【短・中期】	46
② SDGs 等実現のための知的資産プラットフォーム【短・中期】	47
③ 次世代のコンテンツ創造・活用システムの構築【中・長期】	48
(3) 世界に共有される価値や感性の持続的な生産・発信・展開	50
① クールジャパンの魅力分析・効果的発信【短・中期】	50
② クールジャパンを支える外国人の集積・活用【短・中・長期】	51
③ デジタルアーカイブの構築【短・中期】	53
(4) その他の今後検討すべき課題	54
<u>おわりに</u>	55
関連資料	
1. 名簿	58
2. 知的財産戦略ビジョンに関する専門調査会の設置根拠	59
3. 専門調査会における検討の経緯	60